

<p>【技術の名称】 アイ・マーク工法 ースラリー系機械攪拌式深層混合処理工法ー (改定1)</p>	<p>性能証明番号: GBRC 性能証明 第16-14号 改1(更1) 性能証明発効日: 2022年7月1日 性能証明の有効期限: 2025年7月末日</p> <p>【取得者】 株式会社トラバース</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、独自に開発した攪拌装置、施工装置、および未固化ソイルセメント採取器等を用いて高品質なソイルセメントコラムを築造するスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法である。本工法の特徴は、地盤状況や施工機の仕様に合わせて4種類の攪拌装置を使い分けること、および攪拌装置の上部にもスラリー吐出弁を装着することで、引き上げ時にもスラリーを注入しながらの混合攪拌を可能としていることである。

【改定・更新の内容】

新規: GBRC 性能証明 第16-14号 (2016年7月12日)
 改定1: GBRC 性能証明 第16-14号 改1 (2019年7月10日)
 ・小規模構造物における品質管理方法の変更
 更新: GBRC 性能証明 第16-14号 改1(更1) (2022年7月1日)

【技術開発の趣旨】

深層混合処理工法では、改良体の築造過程を目視確認できないことに加えて原地盤を骨材とするため、あらゆる地盤に対して均質な混合攪拌を可能とする必要がある。本技術では、地盤状況や施工機の仕様に合わせた4種類の攪拌装置を使用することで、均質なソイルセメントコラムを築造可能としている。また、攪拌装置上部にスラリー吐出弁ユニットを装着する仕様を追加し、引き上げ時にもスラリーを注入しながらの混合攪拌を可能とし、施工効率の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「アイ・マーク工法 品質・施工管理マニュアル」に従って築造される改良体は、土質に応じて $400 \sim 2,000 \text{ kN/m}^2$ の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層で20%、粘性土層およびローム層で25%が採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

表1 適用範囲

適用性	小規模建築物を含む建築物の基礎
	擁壁および工作物などの基礎
	山止めなどの仮設構造物
	液状化対策
改良形式	杭形式、ブロック形式、壁形式
適用地盤	砂質土、粘性土、ローム地盤
改良径	$\phi 400 \sim \phi 1200 \text{ mm}$
最大施工深さ	17m
変動係数	砂質土:20%,粘性土:25%,ローム:25%



写真1 上部吐出弁ユニットを装着した攪拌装置例



写真2 出来型確認



写真3 性能確認試験



写真4 性能確認試験



写真5 攪拌状況検査

【本技術の問合せ先】

株式会社トラバース 担当者: 高橋 健二
 〒272-0121 千葉県市川市末広 2-4-10

E-mail: takahashi.kenji@travers.co.jp
 TEL: 047-359-1191 FAX: 047-359-1199